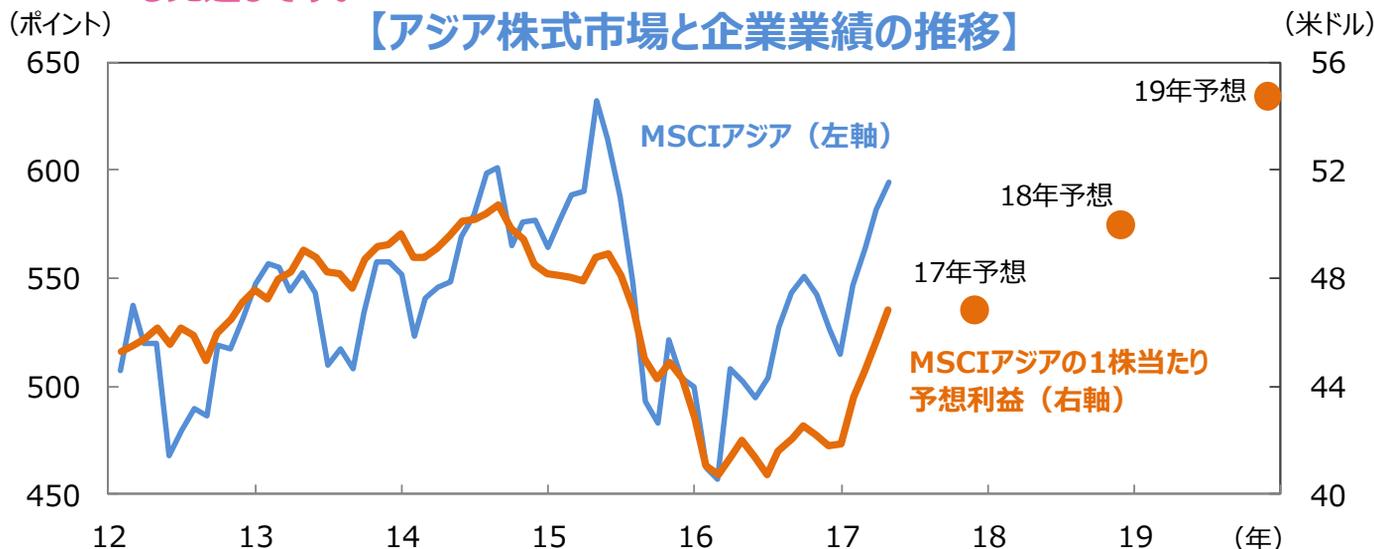


## Q アジアの株式市場が堅調な背景は？

**A** 予想利益の大幅な改善が背景です。世界経済の回復がアジアにも波及しています。けん引役は韓国、インドネシア、中国、インドなどです。インド、インドネシア、中国は18年以降も2桁の利益成長が期待され、フィリピンも利益成長が加速する見通しです。

**【アジア株式市場と企業業績の推移】**

**【1株当たり予想利益の前年比伸び率】**

(単位：%)

	2017年	2018年	2019年
MSCIアジア	19.4	9.8	9.5
中国	15.8	13.0	13.3
韓国	42.6	6.7	6.2
台湾	12.1	6.7	6.3
香港	10.4	7.0	▲ 0.5
インド	14.2	18.3	11.7
シンガポール	7.9	8.1	7.6

(単位：%)

	2017年	2018年	2019年
インドネシア	16.5	13.7	11.9
マレーシア	3.4	6.6	1.6
タイ	7.1	10.6	8.6
フィリピン	3.0	11.6	12.1
<参考> 日本	13.9	7.7	9.9
<参考> 米国	10.8	11.9	10.2
<参考> 全世界	15.2	10.6	9.5

(注1) 上図のデータは2012年1月末～2017年5月末。2017年5月は16日現在。2012年～2017年の1株当たり予想利益は12カ月先予想、2018年～2019年の1株当たり予想利益は単年予想 (MSCIベース)。MSCIアジアはMSCI AC Asia (除く日本)。

(注2) MSCI AC Asia (除く日本) の構成国・地域は、中国、韓国、台湾、香港、インド、シンガポール、インドネシア、マレーシア、タイ、フィリピン。

(出所) FactSetのデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。